

夏の風物詩

春日忠洋 (本町三)



夏の風物詩といっても、所変われば、あるいは人によつては、言う事がさまざまに違つてくることとは思うが、私にとつて夏に欠かせない行事といへば、やはり新津夏まつりである。

私が初めて祭りに参加したのは小学校の四年生。以後毎年参加し、今年でもう十五年になる。その間に新津夏まつりの歴史、伝統といった大それた事は言えないまでも、どういうものなのか自分なりに考え、理解してきたつもりである。

私は今、三条市に住んでおり、寓宮、本宮には参加するつもりで、その日に合わせ新津に帰つて来た。その時初めて聞かされたのである。松坂流しが今年は本町通りである、市役所通りで行われたということ。

もちろん、新津松坂は新津夏まつりで踊るほかにも各町内で盆踊りとして踊られているので、市役

所通りで踊ることもそれと同様に考えれば、何ら疑問を持つことはない。ただ、新津夏まつりの中の松坂流しとして考えた時、それはやはり本町通りで行われるべきではないかと私は思う。いや、本町通りでなくても駅前通りや新町通りでもいい。というのは、新津松坂の唄の中にちゃんと出ているように、本来、新津夏まつりというのは新町から一町にかけての祭りではないかと思うからである。せめて、その祭りの中の松坂流しとしてやる以上は、新町から一町区間内で行つて欲しい。あくまでも私個人の意見だが。

前に述べたように私はしばらく新津を離れていたのですが、今回のように松坂流しが市役所通りで行われるようになった過程はわからない。本町通りで行うには難しい問題が生じたのだろうか。解決可能な問題であれば解決し、また来年から街で松坂流しをしてもいい。伝統のある祭りであるだけに、松坂流しが街から出てしまつたことを私は寂しく思う。

このバトンを市役所の新義義則さんにリレーします。

新津の文化財 ⑬

眞柄家石油関係資料

市指定文化財 文書

昭和53年4月14日指定



柄目木の眞柄家に伝わる「眞柄家石油関係資料」は、慶長十八年(一六一三年)眞柄家の祖であり煮坪の発見者の仁兵衛貞賢から、明治三十三年(一九〇〇年)道三郎に至る眞柄家歴代の石油に関する文書、絵画など

七〇点の記録を保全、収蔵してきたものです。

新津油田(煮坪)発見以来の眞柄家と領主層との関連、油井の状況と採油の技法、産油量増減の推移などをこれらの資料から知ることができそうです。新津が石油産出のピークを迎える前にあたる江戸初期から明治中期に至る間の近代石油産業発生までの経緯全般を知るとともに、眞柄家所有の煮坪とともに、学術的にもきわめて価値の高いものとなっています。

「新津の文化財」好評頒布中

- 頒布価格 1800円
- 頒布場所 市役所1階売店、中央公民館、図書館、荻川地区公民館、勤労青少年ホーム
- 問い合わせ 生涯学習課文化行政係(☎22-19667)へ。

新津市の人口

男	32,316 (+16)	7月31日現在 ()内は前月比
女	34,632 (+26)	
計	66,948 (+42)	
世帯数	19,337 (+19)	

7月中の動き

出生	42	死亡	39	転入	153
転出	114	結婚	15	離婚	9

お買物、ご用命は市内で

『坂口安吾』静かに眠るゆかりの地新津、郷土銘菓新発売!!

新津銘菓

吹雪物語

……汽車が新津へついたとき、邊江は思いきって立ち上った。もう一度こっそり新津へ戻って行く。そして卓一に一眼会おう。邊江は駅へ手荷物を預けた。

坂口安吾作 昭和十三年七月 刊行『吹雪物語』より

☎ 今月のコーヒー祭り 100g-300円 6・7・8日です。

吹雪物語 1冊100円

ふんわりとしたスポンジに、
塩味のきいたソフトなチーズ
クリームをサンドしました。

にいつ サカヤ

本町2 ☎22-0112